

下松市のコミュニティ・スクール ～心を合わせて 地域の子どもを育む～

花岡小学校



学校運営協議会

④振り返る(評価)

持続可能な取組にするために
協働する楽しさ、喜び、手応えを分かち合いましょう！

下松小学校



ボランティアによる読み聞かせ

末武中学校



生徒による花岡歌舞伎(文化祭で)

①知る(情報共有)

子どもには、地域には…
どんないいところがある？
どんな課題がある？

「コミュニティ・スクール」は、学校や地域の課題解決に向け、学校と保護者、地域住民などが協働して、「地域とともにある学校」をつくっていく仕組みです。



豊井小学校



授業参観

②考える(熟議)

こんな子どもに育ててほしい！
こんな学校を創りたい！
目標・ビジョンの共有

久保小学校



熟議

③実現させる(協働)

学校、地域、保護者、子どもの役割分担
共有した目標に向かって、共に汗を流しましょう！
学校を核とした地域ネットワークでつながりましょう！

下松市の将来を担う子どもたちの豊かな育ちのために、学校・家庭・地域が一体となった社会総がかりでの教育を推進していきます。

光市が進めるコミュニティ・スクール

「次世代型コミュニティ・スクール」=中学校区を単位として推進するCS

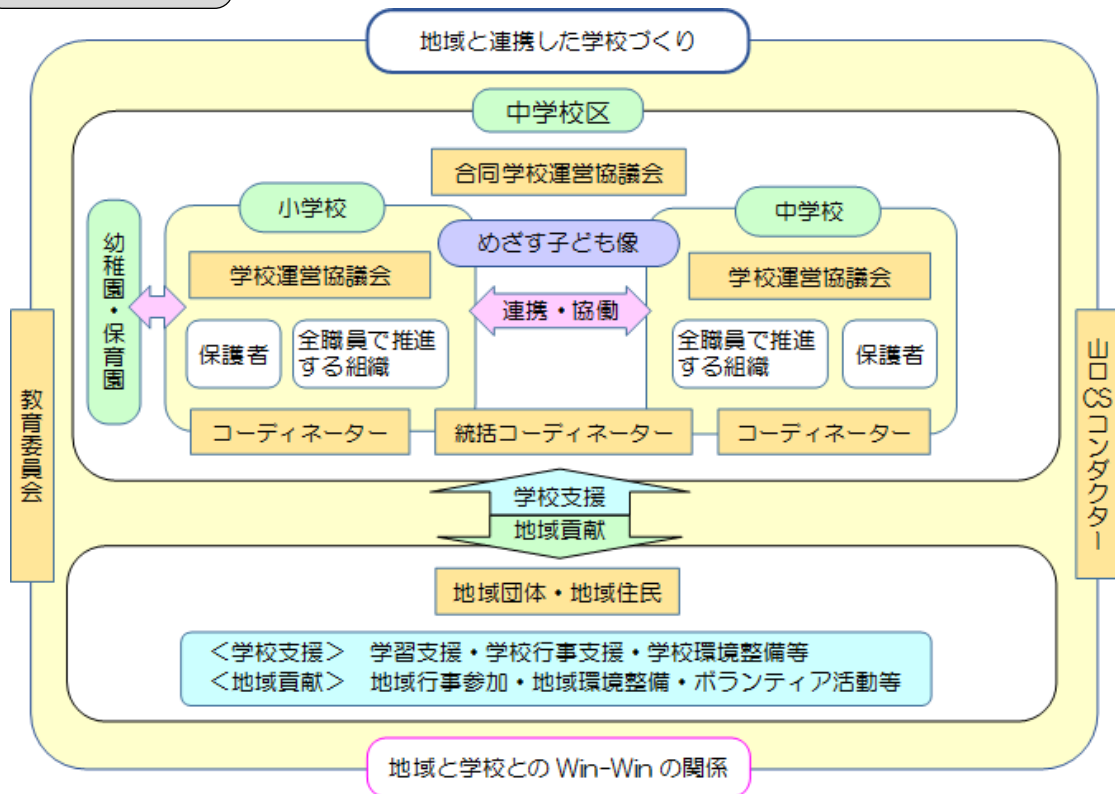
① 基本方針

中学校区における学校・家庭・地域が「めざす子ども像」を共有し、それぞれが「教育の当事者」として、小・中学校の9年間の成長を見通し、学校運営に参画していくことを目的としています。

【コミュニティ・スクールの主なねらい】

- ① 学校運営の質の向上 (学校運営)
- ② 地域の子どもはみんなで育てるという意識の醸成 (学校支援)
- ③ 故郷を大切にする気持ちの育成とコミュニティの活性化 (地域貢献)

② 推進体制



③ 光市におけるコミュニティ・スクールの水準の維持・向上

- ◎ **地域・学校の特性を生かしたコミュニティ・スクールの推進**
各地域の実情に応じた地域連携や各学校の状況に応じた組織整備等、地域・学校の特性を生かした、相互にWin-Winの関係を構築できる推進体制の充実
- ◎ **光市コミュニティ・スクール研究協議会**
コーディネーター・教職員を対象とした情報交換、研究協議等を通して各校の取組の質を高めるとともに、光市としての方向性を確認
- ◎ **学校運営協議会への参加・企画段階からの支援**
山口CSコンダクター、学校教育担当者、社会教育担当者による、コミュニティ・スクールの取組の充実や水準の向上を図るための訪問指導・連携支援

周南市の「地域と“共に”ある学校」づくり全体構想

学校運営協議会の充実

(参画と協働)

- 学校運営・学校支援・地域貢献の3つの機能の視点から子供たちの成長のための取組を企画し実践します。
- 協議のゴールや年間活動のゴールを設け、協議会の活動を評価し成果を確認しながら進めます。



自主性、社会性や自己肯定感を育み
「生きる力」の向上を目指す教育

小中連携教育の深化

(連続性と系統性)

- 9年間の学びと育ちの目標を小・中学校で共有し、目指す方向を揃えた教育を実践します。
- 小・中学校の交流活動を深め、互いの教育活動をつなげ、連続性と系統性のある指導により教育効果を高めます。



学校・家庭・地域がつながり

子供たちの豊かな成長を支える

小中連携教育の深化

合同学校運営協議会の定着

(共有と一体感)

- 中学校区で育てる子供像や推進のコンセプトを話し合い、思いを共有し協働を通して子供たちの成長を支援します。
- コーディネーターを中心とした地域の教育ネットワーク(地域協育ネット)を充実させ、地域の教育環境を高めます。



地域との関わりで生まれる教育力

(絆とふるさとを愛する心)

- 学校を核として地域の人とのつながりや大人の生きがい感が生まれます。
- 子供たちの自己有用感が高まり「ふるさとを愛する心」「地域の担い手としての意識」が生まれます。

市内全体に「地域と“共に”ある学校」を広めるため、6月8日を「周南市コミュニティ・スクール推進の日」(平成24年学校運営協議会 会長 会議を初めて開催した日)として設置

地域と“共に”ある学校づくり 運営のチェックポイント

学校運営協議会の充実のために

- 学校課題解決のために、学校運営協議会の開催前に企画推進会議等を開くなどして協議題や協議形式を工夫し、協議の目的を明確にして開催している。
- 学校や地域の特色を生かした「学校支援」「地域貢献」の活動や保護者・地域住民の授業等への参加など、連携活動を企画している。
- 校内プロジェクト部会等を設け、教職員と学校運営協議会委員、PTAが繋がる組織になっている。
- 学校運営協議会委員が、学校での子供たちの現状を直接把握する機会を設けている。
- 学校に地域の人が集まる場（CSルーム）や機会（大人の学び等）を工夫している。



一体的に
推進

小中連携教育の深化のために

- 小中合同研修会が連携効果を高めるため、年次のな発展を踏まえて計画・実践している。
- 小中学校間で出前・交流活動、研究授業やなめらかな接続を意識した小6・中1等合同の教育活動や、小6の中学校授業体験を実施している。
- 小中の発達特性や教育課程を理解し、互いのカリキュラムの連続性・系統性を踏まえ指導している。
- 学びや育ちに関する連携カリキュラムや学校・地域連携カリキュラム※を作成し、指導に一貫性や多様性を持たせている。
- 学校評価の重点目標等を共通にするなど、連携の効果をPDCAサイクルを活用して高めようとしている。



合同学校運営協議会の定着のために

- 熟議を通して中学校区全体で育てたい子供像、目標、プラン等を作成し、学校・家庭・地域が目的を共有し、協働実践している。
- 中学校が核となり合同学校運営協議会を定期的開催し、年間の協議や活動の目的を明確にし、一貫性のある運営をしている。
- 各校の学校運営協議会の部会同士のつながりを生かした運営を工夫している。
- 学校運営協議会委員が小中連携合同研修会に参加する等、教育課題を共有している。
- 統括コーディネーターを置き、学校と地域の諸団体・組織・グループ等と連携するネットワークづくりを進めている。



絆とふるさとを愛する心を生むために

- 地域の人々の学校支援や学校行事の参加が増えることで、世代を超えた子育てを通じた交流の機会を生み出している。
- 地域の人々が得意な分野を子供たちに教えることで、大人にとって新たな学びや生きがい生まれている。
- 子供たちが地域の行事にボランティアや手伝いとして自主的に参加し、地域の担い手意識を高め地域の活気を生み出している。
- 子供たちが地域の将来について考えたり、発表したりする機会によって、地域への関心を高めている。
- 子供たちが地域の歴史・伝統・文化・産業・自然を生かした教育活動に取り組むため、地域の専門家が学びの支援者となっている。



※学校・地域連携カリキュラム例 4つの視点

- 地域を生かす**(教科の単元に支援を位置づける)……地域の方の経験や知識、趣味や特技を学習に生かす
- 地域で学ぶ**(教科の単元に学習内容を位置づける)……地域の歴史、伝統、文化、産業、自然等を学習に生かす
- 地域にかえす**(総合的な学習の時間で教材化する)……学んだことを創造的活動を使って地域に伝える
- 地域と共に学ぶ**(教科・道徳等の時間を共有化する)……保護者や地域の人と共に学ぶ

このリーフレットは「やまぐち型地域連携教育」の理念や手法を踏まえ、平成24年度からスタートした全小中学校コミュニティ・スクールによる「地域と“共に”ある学校」づくりの発展のために作成しました。

周南市教育委員会

平成29年3月

学校運営に係る取組

下松市立公集小学校



「ふるさとを愛する心の育成」をテーマに地域関係者・保護者・教職員の60名が熟議を行った。魅力あるふるさとづくりに向け活発に意見交換が行われ、教育活動の見直しが図られた。

下松市立豊井小学校



学校運営協議会では、各学年の「地域単元」を充実させるべく、井戸端的熟議と題して学校運営協議会委員と教職員が協働的に考える場を設定した。

下松市立米川小学校



避難訓練を参観した学校運営協議会委員からの提案をもとに、専門家を招へいして地域の実態に即した防災出前授業を実施した。

光市立上島田小学校



学校運営協議会では、学校・地域が連携、協働して児童のよりよい成長に向けての話し合いが行われている。また、CS推進部全体会では、部会ごとに学校・地域・保護者がPDCAサイクルでCSの活性化を図り、児童の育成に寄与している。

光市立周防小学校



委員の方々には、年4回の学校運営協議会だけではなく、校内研修にも参加していただき、学校運営や学習指導について協議を行った。

光市立三輪小学校



学校運営協議会にPTA役員が参加し、「15歳の和っ子像」について熟議を行い、めざしたい子ども像の共有をした。

光市立東荷小学校



防犯避難訓練と学校セーフティ・ライフセミナーを実施し、「防犯安全」「交通安全」「災害から身を守る」について、地域・保護者も参加し、子どもの命、身を守る方法について学んだ。

周南市立湯野小学校



本年度2回目の学校運営協議会は、教職員も全員参加して、教育活動アンケートの結果をもとに、取組・進捗状況を説明し、その後、各部会に分かれてそれぞれの課題について熱心な話し合いが行われた。

周南市立岐山小学校



豊かな心を育てることを目標とし、全教育活動を通して道徳教育を推進する中で、地域の方にも授業に参加していただき、郷土を大切に育てる心を育てた。

学校運営に係る取組

周南市立桜木小学校



学校運営協議会委員と教職員が、本校の特色である五育(知・徳・体・花・食)の取組、その成果と課題等を検証する「熟議」を行っている。

周南市立福川南小学校



地域の方・保護者・教職員が共同で校内合同安全点検を実施している。写真は理科準備室の安全点検を実施している様子である。

下松市立末武中学校



テーマ「ふるさとを愛し、末武中を誇りに思う心を育む」のもと、地域住民、生徒代表、保護者、本校教職員が参画した熟議を行った。

光市立島田中学校



生徒が「島田川協育ネット」の実績についてこれまでの活動をパーポイントにまとめ、参加者の方々の前でしっかりとその成果と感謝の気持ちを伝えた。

周南市立太華中学校



第1回学校運営協議会において、学校教育目標について承認を得た後、委員と教職員が「豊かな心」「学力向上」「地域協育」の3つの部会に分かれ、活動内容に関する熟議を行った。

周南市立福川中学校



学校運営協議会と全教職員合同で校内研修を行い、「授業改善の課題」について熟議を行った。

コミュニティ・スクールで地域の活性化を

下松市教育委員会 山口CSコンダクター

島田 和昌



市内全小中学校にコミュニティ・スクールが導入され2年が経過します。

まず、コミュニティ・スクール先進校への視察や研修すること、目的や組織づくりから始まりました。幸いなことに、下松市は、もともと教育資源や地域人材が豊富であり、このことに助けられながら、「学校支援」「地域貢献」という両輪が動き出しました。

充実した「学校運営」に向けて、学校と家庭・地域が一体となって知恵を出し合い、協働すれば、子どもたちが豊かに育ち、そこに関わる大人たちも成長していけると思います。そのためにも、学校を核としたコミュニティ・スクールの取組を地域全体の活性化につなげていくという意識が大切であると感じています。

学校支援に係る取組

下松市立久保小学校



夏休みの課外学習教室に、市内の高校から募った高校生ボランティアが参加して学習支援を行った。

下松市立米川小学校



花壇の苗の植え付けや環境整備に地域住民の協力を募り、「ピカピカタイム」として毎月一回、児童とともに作業をしていただいている。

下松市立東陽小学校



地域全体に夏休み学習会の学習支援ボランティアを募り、補充学習の指導をお願いした。のべ約 70 人の支援ボランティアの参加があった。

光市立室積小学校



地域の方や保護者のサポートにより、学校ではなかなか体験できない田植えの場を設定することができた。

光市立島田小学校



今年度から組織した学校支援ボランティアを活用し、1年生と一緒にサツマイモのつる植え・いもほりをお手伝いいただき、秋にはいもパーティーを開いた。

光市立三井小学校



家族参観日に、3年生が「釘打ち体験」を実施した。市林業研究会の方をゲストティーチャーとして招き、保護者にも手伝ってもらいペントレーを作製した。

光市立塩田小学校



ふるさとのそばの味を引き継いでいこうと、そばまき・草引き・刈り取り・脱穀・そばうちまでを地域ぐるみで取り組んでいる。

周南市立久米小学校



6年生が、ミシンの使い方を地域の方に教わりながら、楽しくエプロンを作った。児童と地域の方の心をつなぐ取組としても有意義だった。

周南市立菊川小学校



2年生活科でいも植えからいも掘り体験のお世話をいただいた。「いもパーティー」に招待し、感謝の気持ちを自分たちで作ったいも料理や言葉、遊びで伝えた。

学校支援に係る取組

周南市立櫛浜小学校



郷土料理「つしま」を地域の方のご指導で調理した。毎年の恒例で、3年生の児童にとっては楽しみの一つである。

周南市立須磨小学校



プール開き前に学校運営協議会を中心にPTA・自治会等地域関係者に協力いただき、児童と一緒にプール清掃を行った。

周南市立秋月小学校



3年生の図画工作科の学習で釘打ちの支援をお願いした。丁寧に教えていただき、安全に釘打ちを習得することができた。

周南市立和田小学校



毎週火曜日に、地域ボランティアの方が来校され、一輪挿しを行い、小中学校の環境美化に貢献してくださっている。

周南市立高水小学校



「楽学の集い」と称し、全校児童がそれぞれ地域の方を講師に、生け花・絵手紙・しめ縄作り・リサイクル工作・竹細工・しおり織り作りを行った。

周南市立大河内小学校



運動会の全校種目「熊毛音頭」の練習を地域の方に指導していただいた。運動会当日は、たくさんの保護者や地域の方と楽しく踊ることができた。

周南市立鹿野小学校



KLS（鹿野ライブラリーサポート）の皆さんが図書コーナーの掲示を毎月時季に合わせて行ってくださっている。

下松市立下松中学校



人権擁護委員の方を招いて人権教室を開催し、多角的なものの方の見方や考え方に触れ、人権尊重の大切さを学んだ。

下松市立久保中学校



学期ごとに小中連携のあいさつ運動を実施した。久保中教職員は小学校を、小学校教職員は久保中を訪れ、あいさつと笑顔を送りながら児童生徒の様子を見守った。

学校支援に係る取組

光市立室積中学校



地域の方々の支援をいただきながら、英語を使ったコミュニケーション活動（イングリッシュ・カフェ）を昼休みに行った。

光市立大和中学校



地域の方を講師に招き、3年生が定植、鉢あげ、整枝、輪台付け、後片付けなどの指導を受け、菊を育てた。

周南市立菊川中学校



校内の環境整備として、周南クリーン菊川のみなさんがせん定されたツツジを1年生全員で集めて運ぶ作業を行った。

周南市立周陽中学校



期末試験週間の放課後、「自学サポートプラン」を行っている。大学生、高等学校生、小学校の先生、地域の方が学習支援に来られ、生徒から「よく分かる」と大変好評である。

周南市立秋月中学校



1年生の家庭科（調理実習）の授業において、周南市食生活改善推進協議会の秋月地区推進委員さんから、指導していただいた。

周南市立富田中学校



学校応援団と生徒、企業が一緒になって、校舎内の階段の手すりや壁にペンキを塗った。

コミュニティ・スクール継続のために

光市教育委員会 山口CSコンダクター

木本 育夫



山口県内の公立小中学校にコミュニティ・スクールが導入されて2年が経過しようとしています。この間、多くの学校で充実した取組が行われ、成果もみられるようになってきました。

今後、コミュニティ・スクールが持続可能な仕組みとして継続するためには、次のことが大切になってきます。コミュニティ・スクールは、「誰のために」「何のために」行うのか、ねらい・目的を学校・保護者・地域がしっかり共有して進めることです。そのために必要な協議（熟議）の場を工夫し、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図ることが必要です。

各学校のコミュニティ・スクールの充実こそが、「やまぐち型地域連携教育」の充実発展につながるものだと考えます。

地域貢献に係る取組

下松市立花岡小学校



「花岡ふれあいまつり」に、5・6年生児童有志がボランティアとして参加した。催し物や販売の手伝いを行い、児童は人の役に立つ喜びを実感することができた。

下松市立豊井小学校



5年生が育てた餅米で餅つき。6年生が地域に呼び掛け行った資源回収の収益金で干支の土鈴を購入。地域の一人暮らしの高齢者に民生委員さんと手渡した。

下松市立中村小学校



地域の方々が、「コアキッズ体操」に参加して児童とともに汗を流し、体幹の大切さについて学んだ。

光市立室積小学校



集団下校時に、地域見守り隊の方々や保護者および教職員が同行し、通学路のゴミ拾いを行った。

光市立島田小学校



地域の方に島田川の素晴らしさについて教えていただいたことをもとに調べ学習をし、それらをもとに劇をつくり、島田川夏まつりで発表した。

光市立浅江小学校



【潮音寺山ライトアップ】
機材点検、設置、点灯式を地域が中心となり小学校、中学校と協働して行った。昨年度からライトアップコンサートを開催し、浅江の冬の風物詩を盛り上げている。

光市立光井小学校



校区内にある冠山総合公園の入り口付近の花壇に、3年生が苗の植え付けを行った。地域の人や観光客に喜ばれている。

光市立三井小学校



9月に行われた敬老会では、6年生が準備や進行、当日の接待などを行った。また、4年生も舞台上で歌を披露した。

光市立岩田小学校



5・6年が大和総合スポーツセンターの清掃作業をした。大和中学校や大和地域の小学校で分担して落ち葉集めなどをした。

地域貢献に係る取組

周南市立遠石小学校



【遠石っ子ピカピカそうじ大作戦】

冬になり、落ち葉が増えてきたことから、学校周辺の公園や道路を地域の人と一緒にきれいにした。

周南市立久米小学校



「市民ギャラリー」を開催し、地域の方、徳山大、徳山高専、周南総合支援学校の生徒の優れた作品にふれた。多数の参加を得て「学校を開き地域貢献の場を設ける」というねらいも達成し、大いに盛り上がった。

周南市立夜市小学校



【地域の祭への出演】

様々な地域のイベントに児童が出演して盛り上げている。また、高学年を中心にボランティアとして参加する児童も多い。

周南市立鼓南小学校



地区の敬老会で中学生と一緒にパフォーマンスを行っている。今年も小・中合同運動会で演じた応援合戦をアレンジし、高齢者の方々に応援する演技を披露した。

周南市立福川小学校



マーチングバンドが、福川地区のふるさとまつりに参加し、「聖者の行進」「ケンタッキーの我が家」等の演奏を披露した。

周南市立福川南小学校



地域・家庭・近隣の幼保小が連携して、地震津波対応避難訓練を実施している。海拔4mの校区では、本校3階が避難場所であることを地域に周知している。

周南市立八代小学校



地域の老人施設の方との交流を行っている。車椅子を押して鶴の観察の手助けをしたり、合唱や踊りで楽しんでもらったりしている。

下松市立末武中学校



文化祭にて、生徒、教員一座による、地域伝統芸能「花岡歌舞伎」を上演した。花岡公民館での歌舞伎公演にも参加した。

光市立室積中学校



地域の伝統行事である「普賢祭」の翌日に、生徒有志で、早朝ボランティア清掃を行った。

地域貢献に係る取組

光市立光井中学校



光井ふれあいフェスタでは、地域住民が光井小に避難する訓練をした後、「靴飛ばし」などの様々なゲームを楽しんだ。中学生は運営ボランティアとして、ゲームの進行や炊き出しを手伝った。

光市立浅江中学校



「市長によるまちづくり特別授業」を開催し、2年生がまちづくりに対し、7つの提言を行った。市長と質疑応答を行うことで、光市を担う自覚やまちづくりに参画していく自覚や誇りを養う場となった。

周南市立鼓南中学校



音楽科における器楽演奏・合唱の練習の成果を地域の介護施設「白鳩学園」で発表し、利用者や職員の方々に喜ばれた。

周南市立岐陽中学校



地域の秋まつりの運営ボランティア依頼が定着している。継続参加することで、会場準備から催しの手伝いまで、地域の担い手として期待される存在になった。

周南市立須々万中学校



各地区の夏祭りには生徒がボランティアとして多数参加した。須々万地区の夏祭りには、準備・司会進行・太鼓演奏など多数の生徒が関わり、祭りを盛り上げた。

周南市立和田中学校



地域に伝承される「国指定無形民俗文化財 三作神楽」の伝承活動を、地域の保存会のメンバーや和田中学校・和田小学校の生徒・児童で取り組んだ。

楽しさと豊かさ、温かさを感じる連携活動に

周南市教育委員会 山口CSコンダクター 布施 安浩



地域の方々の学校を見る温かい目が広がり、子どもたちへの思いが深まっていると感じています。学校運営協議会委員や地域コーディネーター、多くのサポーターと教職員が「こんな子どもに育ってほしい」という思いを語り合う、笑顔があふれる協議会に出会うと、これからへの期待感につながる幸せな思いを実感します。

子どもたちが、地域のひと・もの・ことにつながる豊かな体験活動を通して、自分を見つめ直し、自分を肯定的に考え、自己有用感を得る姿は、関わる人すべてに豊かで温かい気持ちを与えてくれると感じています。

コミュニティ・スクールを核とした地域と“共に”ある学校づくりは、楽しさ、豊かさ、温かさを共に味わう取組であることを願っています。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

下松市立下松小学校、
下松中学校



おやじの会が主催し、廃校により校区となった笠戸島深浦地区の有志の方々を指導者として招へいして、親子でしめ縄を作製した。

下松市立久保小学校、
東陽小学校、久保中学校



年3回、各学期に中学校区の3校による小中連携教育協議会を開催し、授業参観と部会別の協議会を実施している。

下松市立公集小学校、
末武中学校



陸上競技大会に向けて、末武中陸上部17名に、3日に渡り放課後陸上競技の指導をしてもらい、技術の向上とともに交流を深めることができた。

下松市立豊井小学校、
江口幼稚園、豊井自治会



隣接した幼稚園と合同で地震対応避難訓練を実施した。地域住民にも参観を呼び掛け見守られる中で、児童個々が地域の一員であるとの思いを新たにしました。

光市立島田小学校、上島田小学校、
三井小学校、周防小学校、島田中学校



島田川協育ネットの活動として、島田中学校区4小学校児童・1中学校の子どもたちの代表者が集まり、地域や学校に対する思いを語り合う『島田川っ子サミット』を開催した。

光市立浅江小学校、
浅江中学校



「15歳の浅江っ子像」をめざし、小中合同拡大学院運営協議会で決定した取組を広めるため、地区全体で挨拶運動を行っている。

光市立光井小学校、
光井中学校



小中合同通学路安全点検では、通学路の危険箇所を小中学生と一緒に確認しマップにまとめた。後日、コミュニティ協議会も点検に加わり、安全マップを完成させた。

光市立岩田小学校、
大和中学校



大和中2年生と岩田小5、6年生が連合自治会合同防災訓練に参加し、消火体験、救急体験や地震体験等を行った。

周南市立徳山小学校



開校記念ふれあいバザーの日に、全校児童と保護者、地域の方が参加した。体験・避難所開設を実施し、防災意識を高めることができた。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

周南市立徳山小学校、
岐山小学校、岐陽中学校



地域協育ネット「とくやまトキメキネット」の一斉あいさつ運動を年間3回実施し、地域の方や中学生が、小学校正門や校区内のいたる所であいさつを行った。

周南市立遠石小学校、周陽小学校、
桜木小学校、周陽中学校



【にこにこ あいさつプラン】
児童・生徒・教職員・地域総ぐるみでのあいさつ運動に取り組んでいる。小学生は、担当クラス児童が、登校後にあいさつの列に入っていく。

周南市立今宿小学校



2学期に6年生と地域の方との交流会を行った。子どもたちが考えたゲームや発表を通して、地域の方と交流を深めることができた。

周南市立夜市小学校、戸田小学校、
湯野小学校、桜田中学校



中学校1年生と校区内3小学校の6年生が一堂に集まり、3地域で活躍している方からの話を聴く会を合同学校運営協議会が主催し開催した。

周南市立戸田小学校



地区消防団の指導の下、4年以上の有志で少年消防クラブを結成。地区運動会などの地域行事や市出初め式においてポンプ操法を披露するなど、地域ぐるみで活動している。

周南市立沼城小学校



校区内の各地域に伝わる踊りを児童が体験し、参観日で発表した。また、それぞれの地域の方が集まることで地域間交流を図った。

周南市立桜木小学校、周陽中学校
徳山高等専門学校、徳山大学



夏休み算数教室には、中学生に加え、近隣の大学、高専の学生も学習支援ボランティアとして参加し、児童・生徒・学生の交流の機会となった。

周南市立富田東小学校



西部地区家庭教育支援チームによる「子育てワークショップ」を就学時健康診断時に開催した。新入学児童の保護者から小学校入学に向けて子育て相談に応じ、保護者の気持ちを和らげることにつなげた。

周南市立富田東小学校
富田西小学校、富田中学校



「地域を元気にする明るいあいさつをしよう」というスローガンのもと、毎月12日を「富田あいさつの日」とし、中学校区全体で取り組んでいる。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

周南市立和田小学校、
和田中学校



夏季休業中に、児童生徒、保護者、教職員、地域老人会が集まり、小中合同環境美化作業を行っている。

周南市立三丘小学校



糸あやつり人形芝居の練習をする5年生。「地元保存会」の皆さんに教えてもらいながら、人形の操作、三味線の演奏などに取り組んだ。

周南市立勝間小学校、
熊毛中学校



熊毛中学校の土曜寺子屋の場が、本年度から各小学校区の公民館へ移され、小学生の参加が可能となった。地域の方が、勉強を教えてください。

周南市立鹿野小学校、
鹿野中学校



クリーンアップ作戦（地域の清掃活動）では、小中学生がボランティアとして積極的に活動している。

周南市立住吉中学校



学校を舞台とした子育て体験活動として、「すみよし応援し隊」の方の指導で、地域の幼児と新生徒会役員と一緒に「門松づくり」を行った。

周南市立熊毛中学校



約170名の生徒が健全育成を目的とした地域行事「周南こどもゆめまつり」にボランティアとして活動し郷土愛を育んだ。

統括コーディネーターとして

島田川協育ネット協議会 統括コーディネーター

河村 昌夫



島田川協育ネット協議会では「地域とつながり、感謝や思いやりのある島田川っ子」をスローガンに掲げています。全小中学校の代表の子どもたちが集まり、中学生がリードして、熟義「島田川っ子サミット」を実施し、そのスローガンに沿った取組を考えています。その後、子どもたちの思いをもとに島田川協育ネット協議会で大人の熱心な協議が行われます。子どもたちを中心に置き、世代を越えて地域をよりよくしていこうという取組に胸が熱くなります。

私は、統括コーディネーターとして4小学校1中学校の校外・校内のコーディネーターを集めての情報交換会を定期的開催しています。今では小学校区を越えた人材の交流がはじまり、様々な活動が活性化しつつあります。これからも地域と地域をつなぐ架け橋となれるよう、全力で頑張っていきたいと思ひます。